

History

ポートランド日本庭園（アメリカ合衆国・オレゴン州）は、1960年にポートランド市民の自主的な協議と市議会の決議を経て、第二次世界大戦が残した両国の深い溝を市民レベルで埋めるために設立が認可され、1963年に創立されたアメリカ合衆国の公益財団法人（501(c)3）です。当時の東京農業大学・戸野琢磨名誉教授による構想設計を基に、多くの市民からの寄付・篤志を背景に建設され、1967年に一般公開されました。

財団設立以来アメリカ合衆国の民間資本で運営されている「ポートランド日本庭園」は、「日本国外における世界最高峰の日本庭園」（松永信雄 元・駐米全権大使）と言われるまでに発展し、今ではオレゴン州の文化機関としてトップクラスの年間集客力を誇るに至っています。

ポートランド市民だけでなく、年間約 50 万人に及ぶ世界中からの観光客に親しまれる庭園（12 エーカー＝東京ドーム 1 個分）は、8 つの異なった様式の日本庭園を擁し、千年以上に亘って日本人が醸造してきた日本庭園文化を継承しながらも、次世代につなぐ新しい日本文化発信・交流プラットフォームとしての可能性を広げる企画を展開しております。

2017年に約 40 億円をかけて完成した「Cultural Village」は、ポートランド日本庭園財団の国際顧問の一人でもある建築家・隈研吾氏との共通ビジョンによって実現され、「全米一住みやすい街・ポートランド」から、幅広い日本文化と職人技・芸術を世界に発信し、庭や自然との対話を通じて、多種多様な日本文化体験を提供しております。

近年では、独自の観点から多様な日本古来の地方文化に焦点をあて、地方に眠る職人の哲学・技や日本人固有の自然観が生み出してきた生活の知恵なども最新の技術と展示でアメリカのみならず広く世界中に広げる活動を多く主催しております。

また、北米に 300 近く存在する日本庭園の新しい活用法を広く国外に実例と共に提案しながら、庭園の技術を正しく伝え国際的な庭園専門家を育成する専門家プログラムなども運営しており、日本国内の著名庭園や文化機関との戦略的提携を結ぶだけでなく、全米公立庭園協会や英国の王立キューガーデン財団などとも戦略的パートナーシップを構築しながら庭園文化全体の発展・促進を目指した活動も国際的に展開しております。

Media Inquiries:

Erica Heartquist | heartquist@japanesegarden.org | 503.542.9339